

No	13	分類	3-(1)-イ	資料名	はずかしがりやのかばくん	学年	1・2年	領域	道徳	1-(4)
----	----	----	---------	-----	--------------	----	------	----	----	-------

1 ねらい

- 先生や友達の励ましの中で、自分の力を出し切ろうとするとともに、夢や希望をもって素直に伸び伸び生活しようとする。

2 趣 旨

- 自ら進んで友達の輪に入ろうと積極的な言動をとることは、豊かな人間関係をつくるためにとっても大切なことであるとともに、友達の励ましや温かさに共感できる豊かな心情を培っていく必要がある。

3 配慮事項

- 児童の理解を促すために、教師による範読やペープサート、ロールプレイなどの工夫をする。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 話の流れを把握する。</p> <p>2 場面に沿いながら、かばくんの行動や気持ちを話し合う。</p> <p style="text-align: center;">かばくんは、どうして「ごようじがあるの」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はずかしがりやさんだから。 ・みんなといるとはずかしくなるから。 <p style="text-align: center;">その後、かばくんはどうしたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くしゃみ→なくしもの ・ころぶ→ビスケツト ・川にはまる→橋渡し <p>3 かばくんの「ごようじ」について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">かばくんの「ごようじ」は何だったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が理解しやすいように、挿絵を手がかりにしなが、じっくりと教師が範読する。 ・みんなと遊びたいのに、そのように言ってしまったかばくんの気持ちを捉えさせる。 ・それぞれの場面について、かばくんの行動とみんなの反応をおさえ、板書にまとめる。 ・かばくんの行動が、結果的に他の動物の役に立ち、みんなにほめてもらっていることをおさえる。 ・かばくん役と他の動物役を児童に演じさせながら、展開してもよい。 ・かばくんが、みんなの励ましや温かさに共感し、自分のためだけでなく、他の子のためにもがんばろうとしていることを捉えさせる。

5 参考

- 原作「はずかしがりやのかばくん」(フレーベル館刊 文 矢崎節夫 絵 福原ゆきお)